

いつか鯛身、、、。

こんにちは。猫パンチです。

GW真っ只中。円安で海外旅行を控えている人向けに娯楽企画です。

鯛のお刺身の話ではありません。最近のアプリバイト事情をレポートします。

近年、バイトのWEB応募、スマホ応募は常識となり、一部のアプリでは、応募即採用、面接無しで現地で働き、終了後、即時給料支払いができる機能を備えています。



猫パンチも興味があり、タイミーとシェアフルのアプリはダウンロードしていたのですが、コールセンターのバイトが忙しく、実際に稼働したことはありませんでした。3月にそのバイトが終了したことに伴い、次のバイト探しのつなぎとして、新たに登場したメルカリハロもダウンロードしました。

いずれのアプリも写真付きの本人確認書類の登録が必要です。面接無しなので、当然ですが、労働場所で本人確認をされたことがないので、友人にスマホを貸せば、友人が働きに行くことはできる、と思います。

仕事を見つける手順としては、アプリを開いて、希望の日付を選ぶ、画面に複数の小さな写真と時間が記載されているので、気になる写真をクリックすると、詳しい仕事内容、労働場所、時給などが見られます。もしその案件で働きたいときは、応募ボタンを押します。ここまでは、どのアプリも共通です。応募即採用となると、アプリ上に労働条件明示書のPDFが見られるようになるアプリと出勤して就業開始になったら労働条件明示書が表示されるアプリがあります。ほとんどが1人枠ですが、オリンピックのときに、誘導のバイトで何十人もの大量募集ができたことがあったそうです。職種としては、飲食業、カラオケ屋、コンビニ、引っ越し屋、フードデリバリーが目立ちます。人気の試験監督は、募集するとすぐに埋まってしまいます。2020年から2023年のコロナ期間中に、休業を余儀なくされ、離職された方の中には、異業種に移った人も多く、人手不足に陥っているのです。時給は、1200円から1300円が多いです。うちの近くのコンビニ、飲食店でも軒並みバイト募集のポスターが貼ってあり、同じぐらいの時給なので、近所で働いたほうが得なのでは、と感じるときもあります。でもそれには、履歴書が必要で、面接が必要なのです。その手間が惜しい。加えて、働いたら即払いという魅力がアプリバイトにはあります。出勤すると、まず、挨拶して、アプリのカメラで、店のQRコードを読み取ります。すると、時間が表示され、就業開始。帰りもQRコードを読み取って、終業。電子タイムカードと同じ機能です。宅急便やゆうパックの追跡機能の応用といえるかもしれません。即払い希望のときは、アプリ上のボタンで申請します。銀行振込の場合は、振込元はアプリ会社ではなく、労働場所（店舗）になっています。ここが、使用者責任を問えるか、という一つの分岐点になっている、と思われます。

3つもアプリを入れていてもなかなか、自分のスケジュールと合うものが見つかりません。

先日、WEB応募した別の派遣会社の野球グッズの販売では、8:00~17:00なのに、前日にメールで、7:00~17:00の変更を知らされました。集合は1時間前の6:00です。いくら近くてもキツイ。6:00~7:00は無給。当日確認のWEB承諾は、2:00~4:00。丑三つ時です。立ち仕事なのに午前中から眠気に襲われました。

「こんななら、タイミーのほうがマシ。」一緒に働いた大学生がため息をつきました。

やっとこさメルカリハローで回転すしのバイトが見つかりました。バイト終わりに天井屋で遅いお昼を食べていると、タイミーのシールを制服の胸に貼った若い店員がお茶を淹れてました。カウンターに下がった後、店長から声が小さい、と注意されていました。おおよそ接客業には向かない大人しいタイプの店員みたいです。客として来店し、気に入ったのでバイトしてみたのかもしれませんが。そういえば、タイミーの広告もインターシップを仄めかしてました。

明日は、ついにタイミーから、おしゃれなカフェでバイトします。若い娘さんが来ると思って期待してたのに、という顔をされても気が利かないと注意されても行ってきます。だって、いつか鯛身だもん。